

事前評価書

年度	R5
整理番号	

事業名・路線名等	道路改良事業 一般県道 <small>ぶぜんやばけいせん</small> 豊前耶馬溪線 <small>かわはらぐち</small> 川原口工区	事業主体	大分県
所在地	<small>なかつしやばけいまちおおあさかわはらぐち</small> 中津市耶馬溪町大字川原口		
事業概要	事業の目的	・幅員狭小区間を解消し、走行性・安全性の向上	
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=140m、W=4.0(5.0)m 【道路区分】 第3種第5級 【設計速度】 V=20km/h 【計画交通量】 237台/日 (R22) 【現況幅員】 W=4.0m(最小) 【交通量】 262台/日(平成27年度センサス)	
	事業費	C=100百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から3年(令和7年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 地形・路線測量、道路詳細設計 2年目 用地測量、用地補償 3年目 道路改良工事、舗装工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	・幅員狭小によりコミュニティバスをはじめ車両同士の離合が困難であるため早急な改良が求められる	
	整備効果	・幅員狭小の解消による通行車両の走行性、安全性の向上 ・小規模集落(相ノ原地区、小屋ノ原地区、川原口地区、中村地区)から中津市中心部へのアクセス改善による利便性向上	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・1.5車線の道路整備のため、費用便益分析比の算出は困難であり、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断する	
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令に適合した工法を採用 ・1.5車線の整備手法を採用し早期の事業効果発現を図る	
	コスト縮減	・アスファルト、コンクリート、砕石は再生材を利用	
	環境等への配慮	・現道を最大限活用し、地形の改変を最小限に抑制 ・大分県自主的環境配慮指針に基づき計画	
事業実施環境	事業の実効性	・中津市より改良の要望書の要望あり ・関係地権者から事業に対する同意書が提出されている	
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」 大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015」に基づき事業実施	
	事業の特殊性	・地形の改変の少ない改良で、特殊な工法は採用しておらず、また施工条件等に特殊な制約もない	
対応方針	・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい		

事業箇所位置図

(主) 豊前耶馬溪線 川原口工区

L=140m W=4.0(5.0)m

